認定第２号　令和７年度東郷町国民健康保険特別会計

歳入歳出決算認定について

討論一覧（討論順掲載）

反対討論 門原武志　議員

国保税負担増に反対

令和 7 年度決算では、国保税の引上げによる被保険者負担が問題である。国保税収入は前年度より約 3500 万円増加した。3838 世帯のうち 7 割・5 割・2 割軽減は計 2062 世帯と半数を超える。滞納 245 世帯のうち、基礎控除後所得 0 円が 93 世帯、100 万円以下が 53 世帯で、約 6 割を占める。低所得世帯が多い中、標準保険税率に近づけることを優先した負担増は妥当とは考えない。一般会計から 8879 万円を法定外繰入れしたことは評価するが、年度末の基金残高も約 7590 万円あった。国保財政の国による強化を求めるとともに、町は標準保険税率を当然の前提とせず、住民の負担能力を踏まえるべきである。